

気韻とロマンを求めて

書家 鈴木赫鳳展

— 日展特選受賞作品を中心に筆跡と近作 —

2018
10月2日(火) - 10月28日(日)

午前9時～午後5時 (土・日・祝日も開館しています)
筑波銀行つくば本部ビル2階ギャラリー

【席上揮毫-7日(日)・28日(日) 午前11時より】
筆・墨・硯・紙 同時展示

ごあいさつ

秋麗の候、皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、筑波銀行第21回ギャラリー企画展として、「気韻とロマンを求めて 書家 鈴木赫鳳展」を開催いたします。

鈴木赫鳳先生は、1950年高萩市に生まれ、父親である鈴木雲鳳氏と日本藝術院賞 殿村藍田氏に師事。1989年日展に初入選をし、2014年には「李白詩」(作品No. 23)、2016年には「沈約詩」(作品No. 2)で特選に選ばれています。また、2010年、11年の讀賣書法展では「李白詩 二首」(作品No. 32)、「李白詩 三首」(作品No. 31)で2年連続準大賞を受賞するなど、主要な展覧会で数々の荣誉ある賞を受賞されています。現在は、謙慎書道会会長 鈴木春朝氏主宰の采真書社に所属し、書壇の第一線で活躍される一方で、日展準会員、讀賣書法会常任理事、茨城書道美術振興会副理事長などの要職を歴任。茨城県内外の書道美術の振興、書道文化の発展高揚に大きく寄与されています。

今展は、茨城書壇の第一人者である鈴木赫鳳先生の、日展 特選受賞作品を中心に、掛軸六幅組の超大作から小品、六曲屏風、卷子などを展示し、近作までの筆跡をたどる展覧会です。自然体のままの躍動感に満ちた作品や清澄さが心に響く作品全57点のほか、貴重な印材や先生ご愛用の文房四宝も展示いたします。この機会に何卒ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、企画展開催に際しましてご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。

2018年10月
株式会社 筑波銀行